

「リニア中央新幹線整備を地域振興に活かす伊那谷自治体会議」(H30.10.24) 発言要旨(一部抜粋)

■リニア関連地域振興策の取組実施体制について

【白鳥 伊那市長】

- ・スーパー・メガリージョン構想検討会中間とりまとめの「クリエイティビティと地域の魅力の融合による新たな拠点の誕生」が非常に重要。自治体会議に民間にも入ってもらい、具体的に議論していけるとよい。

【杉本 駒ヶ根市長】

- ・アンケートで効果的な魅力発信の方法や、どこをターゲットに取り組んでいいかわからないということなので、そういう点を第三者の目で見てもらい、自治体に進めてもらいたいことを具体的に提案してもらった方が進んでいくと思う。

【牧野 飯田市長】

- ・魅力発信施設を始めとして、伊那谷、県全体の発信をどうしていくかということは、関係者の皆さんに入ってください検討しなければならない。民間や関係者に入ってください、今後の取組体制を決めていただきたい。
- ・この自治体会議事務局のリニア整備推進局はハード系であり、魅力発信はソフト系の話も含めてだと思うので、関係部署にも積極的に関わっていただくような組織体制を県で考えていただきたい。

【小池 平谷村長】

- ・下伊那郡は非常に広大であるので、魅力発信も広域で考えなければと思う。

【唐木 南箕輪村長】

- ・民間の皆さんに入ってください、共通認識を持つことは大切なこと。関心が高まらないとまちづくりも進まない。

【阿部 知事】

- ・伊那谷自治体会議の検討の在り方や具体的な事業の進め方を次のステップに進める段階だと思う。
- ・伊那谷地域の文化・景観、飯田市の航空宇宙産業、伊那市の自動運転・ドローン、駒ヶ根のJOC Aの現状を踏まえ、もう1回検証し、伊那谷としてのビジョンと情報発信を考える必要がある。
- ・実施体制は次のステップに進むことを前提として、民間の皆さんと一緒に考えることは必須だと思う。
- ・事務局のあり方も抜本的にレベルアップできるように、しっかり一緒に考えたい。

リニア関連地域振興策の取組実施体制について

1 前回自治体会議での確認事項

- 具体的な事業の進め方を、次のステップに進める段階
- 取組実施体制は、民間にも参画してもらい一緒に考えていくことが必要

2 取組実施体制の基本的な考え方

- (1) 行政と民間が連携した「新組織」を立ち上げる
- (2) 既存の組織や取組体制を活かす
 - 自治体会議とエコまちフォーラムとの共同プロジェクト、広域DMO など

3 新組織のイメージ

- (1) 想定される取組（プロジェクト）※適宜追加を検討

プロジェクト	想定内容
まちづくり	知的対流拠点の形成
二次交通	自動運転の活用、公共交通の路線再構築
大都市圏との対流 ・情報発信	ダーチャ、二地域居住の促進
観光	広域観光ルートの造成、インバウンドの推進
産業	知の集積地の確立、災害時のバックアップ拠点の整備
食と農	農産物のブランド化、アグリビジネスの展開

- (2) 各取組（プロジェクト）にプロジェクトリーダーを設置
- (3) 各取組（プロジェクト）を一元的に統括する組織の構築
 - 各プロジェクトの進捗管理
 - 統括マネージャー（仮）の設置
- (4) 機動的な取組のための事務局体制の強化
 - 常勤の専任スタッフの設置

4 新組織の構築に向けた検討課題

- (1) 伊那谷自治体会議との関係の整理
- (2) 新組織における権限の整理
- (3) 各取組（プロジェクト）における行政と民間との役割の整理

リニア駅近郊エリアのまちづくり構想の策定について

資料 5

リニアの開業を見据え、飯田市及び周辺町村(松川町、高森町、豊丘村、喬木村、大鹿村)を含めた広域エリアにおけるまちづくりの構想を策定する。

背景

1 リニアバレー構想

【学術・研究機関が立地する“知”の集積地の確立】

- ✓ 最先端産業や地場産業の支援機能、大学連携組織、高等教育機関等の結集
- ✓ 産・学・官・地域の人的交流の場、ナレッジスクエアの形成

2 スーパー・メガリージョン構想検討会の中間とりまとめ(H30.7)

(中略)中間駅は、多様な人材が活発に行き交いクリエイティブな交流が生まれる、新しい知的対流拠点となる可能性を秘めている。

3 各市町村の企業誘致に関する計画等

視点

■ 構想策定に係る検討の視点

- ・ リニア駅を核とした知的対流拠点の広域形成
- ・ 関係分野(食と農、健康・医療等)を含めた検討
- ・ エリア内外(上下伊那)の関連事業等との連携、効果の波及

■ スーパー・メガリージョン構想検討会での長野県からの提案

- ・ 民間投資の促進
- ・ 首都圏災害時のバックアップ機能の整備
- ・ 自動運転モビリティなどの先端技術の活用

目指す姿(例示)

- 研究機関、高等教育機関等の誘致促進による伊那谷の学術研究機能の強化
- リニアと伊那谷全域を結びつける「核」となる知的対流拠点の形成

事業の内容

基礎調査

- リニア駅近郊エリアの土地利用状況等の整理
- 知的対流拠点の形成に必要な施設等の整理

意向調査

- 基礎調査により得られた施設等に係る関連機関に対し、エリア内への進出意向を調査

構想策定

- 上記を踏まえ、魅力的、機能的な知的対流拠点の形成に必要な土地利用(ゾーニング)を立案

まちづくり構想の検討体制

以下の体制による会議を定期的開催し、まちづくりの構想を検討。

<体制イメージ>

長野県

- リニア整備推進局
- 南信州地域振興局

関係市町村

- 飯田市
- 松川町
- 高森町
- 豊丘村
- 喬木村
- 大鹿村

リニア駅近郊のまちづくり構想 検討会議（仮称）

受託事業者

- コンサルタントを想定

実施スケジュール

- 平成31年度中を目的に構想を策定。
- 構想策定後、その実現に向けた各主体の取組について検討を進めていく。

「リニア中央新幹線整備を地域振興に活かす伊那谷自治体会議」への 木曾地域の参画について（案）

建設部リニア整備推進局

1 趣 旨

リニア中央新幹線の整備を「リニア活用基本構想」における「リニア3駅活用交流圏」（長野県駅、山梨県駅、岐阜県駅の駅勢圏）の地域振興につなげるため、伊那谷自治体会議に木曾地域からも参画いただく。

2 参画方法

オブザーバー

※今後の検討課題の展開に応じて構成員としていくことも検討

3 参画者

- ・木曾広域連合代表（1名）
- ・木曾地域振興局長

4 今後のスケジュール

新年度（2019年度）開催の伊那谷自治体会議からの参画を想定

「リニア開業を見据えた地域づくり講演会」の開催について

長野県リニア整備推進局

1 概要

- リニア中央新幹線開業に向けた地域づくりに寄与することを目的に、平成 26 年度から伊那谷自治体会議の勉強会を開催
- 今年度は、リニア中央新幹線建設促進長野県協議会とともに、長野県伊那文化会館で平成 31 年 1 月 31 日(木)に開催し、行政、商工・経済団体、住民等、約 200 名が出席（※講師及び講演内容は、下記 2 のとおり）
- 国土交通省から「スーパー・メガリージョン構想」の概要を説明いただくとともに、伊那谷自治体会議で議論されている都市と農村との対流促進の視点から、大都市圏の企業と農村との交流事例等について紹介いただいた。

2 講師

- 国土交通省 国土政策局 計画官 ^{まし ひろゆき} 岸 弘之 氏

演題：「スーパー・メガリージョン構想」について

【講師略歴】

平成元年に運輸省入省。以降、九州地方整備局道路部道路調査官、国土交通省国土計画局総合計画課企画専門官、北陸地方整備局新潟港湾・空港整備事務所所長、徳島県県土整備部運輸局局長、(一財)沿岸技術研究センター研究主幹等を歴任。平成 30 年から現職。

- 公益社団法人 青年海外協力協会（JOCA）事務局長 ^{ほりた なおき} 堀田 直揮 氏

演題：大都市圏と伊那谷をつなげる新たなライフスタイルの創出とリニア開業に期待すること

【講師略歴】

昭和 51 年生まれ。大学卒業後、青年海外協力隊員として 2 年間、アフリカ、ジンバブエ共和国に赴任し青少年育成に取り組む。帰国後、青年海外協力協会（JOCA）の職員となり、青年海外協力の帰国隊員による社会還元活動や海外青年のインバウンド事業等に従事。平成 27 年からは地方創生推進事業部長として JOCA が進める全国 5 か所の地域づくり事業を担当。平成 30 年に JOCA 本部が東京から長野県駒ヶ根市に移転したことに伴い、駒ヶ根市に家族と移住。駒ヶ根市の活性化に向けた地方創生事業に取り組んでいる。

- NPO 法人 えがおつなげて 代表理事 ^{そねはら ひさし} 曾根原 久司 氏

演題：大都市圏の企業と農村をつなぐ「企業ファーム事業」について

【講師略歴】

昭和 36 年生まれ。大学卒業後、金融機関等の経営コンサルタント等を経て、東京から山梨の農村地域へ移住。平成 13 年に NPO 法人えがおつなげてを設立。耕作放棄地や森林資源といった農村資源の活用を、三菱地所グループなど多数の企業との連携で行うことによって、農村の活性化に取り組んでいる。

- 三菱地所株式会社 環境・CSR 推進部長 ^{きくかわ よしひこ} 菊川 嘉彦 氏

演題：山梨県北杜市における「空と土プロジェクト」について

【講師略歴】

昭和 39 年生まれ。昭和 62 年に三菱地所(株)に入社し、経理部に配属。以降、神戸営業所、大阪支店開発課、経営企画部、三菱地所ビルマネジメント(株)取締役常務執行役員等を歴任。平成 24 年に三菱地所(株)復職後は、街ブランド企画部長、アジア事業部長を経て、平成 29 年から現職。

「リニア開業を見据えた地域づくり講演会」参加者アンケート

	来た場所			開業に当たって期待すること					本日の感想	聞いてみたいテーマなど
	上伊那地域	飯田下伊那	その他	大都市圏と移動時間の短縮	伊那谷の経済振興	インフラ整備	移住・定住者の増加	その他		
1	○				○		○		JOCAの取り組みの話は、とても参考になりました。	
2	○				○				堀田さんの講演、とても良かったです。今後の活動の参考にさせていただきます。	
3	○			○				子供達の未来での活用法	前半だけ聞きましたが、岸さんのお話は難しかったです。 リニアを活用していくであろう子供達の親(母親)とくに、もっと聞いていただける様な内容があるといいかなと感じます。	
4		○			○					
5		○					○		住みやすい地域をすること、地域の人々が自然に集まる場所作りがポイントというのが、印象に残りました。	
6		○			○					
7	○			○						
8		○			○					
9		○					○		それぞれの講演を興味深く聞くことができました。 講師の皆様の話は、ここに住んでいる我々には気がつかない視点での取り組みだったと思う反面、我々にとってはいつもの生活のように思いますので、行政の皆様が関連する会議に講師としてでなく、委員として招へいし、このような取り組みを伊那谷の政策として一様になるようにすべきではないでしょうか。 人が減っては経済活動は減少、インフラ整備も無駄になります。	
10	○			○						
11		○					○			
12	○			○	○	○	○		大変参考になりました。駒ヶ根すごい！	
13	○				○					
14		○			○				地域の発展への事例が、色々な視点や思いからご紹介いただいたので、今後の業務に活かして行きたいです。 地域で人の集まる場所の創造に成功した事例を、色々聞いてみたいです。(JOCAさんの話が大変興味深かったです。)	
15	○				○				スーパー・メガリージョン構想と、堀田さんとの話は大変魅力的で、将来に対する大きな夢がふくらんだ。あと10年後が楽しみだ。	
16	○				○					
17	○			○						
18	○				○				・職と住の関係性について、新たな価値観を思いました。 ・都会と地方の共存の形が存在することにおどろきました。	
19	○				○					
20			諏訪				○		「地域の人が集まる場所を作れば、外からも人が集まってくる」という、堀田様のお話が印象的でした。 子供達にとって、地元が居心地の良い場所という思い出を作ってもらおう。	
21	○			○						
22	○			○						
23	○			○						
24	○				○					
25	○			○			○			
26	○							人と人とのつながり	地域づくりの実例が聴講できてよかったです。今後、定期的にお願います。	女性の活躍例の構造
27	○				○					
28			○					街づくり	各方面の方の話が聞けて、それぞれが目的を持ち取り組みを伺えました。開業を見据えた講演会でした。	
29		○		○	○		○			
30	○						○			

	来た場所			開業に当たって期待すること					本日の感想	聞いてみたいテーマなど
	上伊那地域	飯田下伊那	その他	大都市圏と移動時間の短縮	伊那谷の経済振興	インフラ整備	移住・定住者の増加	その他		
31	○			○					地元にある資源を有効活用し、県外から人を引っ張ってくるという事業は素晴らしい、自分たちの町でもできたらと思いました。 リニア開業にあたり、そういったことがやりやすくなれば良いと思いました。	
32		○			○					
33	○			○	○				来る前は講演時間が長いと感じていましたが、それぞれの講演を興味深く聞きました。 特に、農業・林業で取り組んでいくことができれば、地域活性化につながるのではと思います。	
34	○					○				
35		○		○						
36		○		○						
37			諏訪地区	○					地域活性について、具体的な事例の紹介をはじめ、素晴らしい講演が聞けて良かったです。 日常の業務の参考になりたいし、アイデアとして取り入れたい。	
38	○				○					
39	○						○		各講師とも大変興味深い話をいただき、大変に参考になりました。	1ターンを増やすために何をやるのか
40	○						○		J OGA、NPOえがおつなげて、三菱地所の取り組み事例は、大変面白く、参考となった。 駒ヶ根、上伊那で展開が出来れば嬉しい。何かに参加してみたい。	
41	○					○			8年後の開業が予定どおり行われる事に期待する。 ぜひ合わせて、インフラ整備のための予算確保をお願いしたい。	
42	○						○			
43			○	○						
44			木曾	○						
45	○						○			
46	○					○			長野県駅へのアクセス向上のための関連事業について、知りたいと思った。	伊那バイパス建設事業の今後の予定等
47	○					○				
48	○						○		リニア開通により、各団体等がどのように地域づくりに取り組んでいくのか、思った以上に幅広い話を聞けてよかった。 リニア駅が飯田になるが、道路整備は進んでいるか、公共交通（飯田までの）はどのように整備されていくのか（特にJR飯田線が）、考えを聞きたい。	
49	○			○						
50		○				○				
51		○				○				
52	○				○				詰めすぎ	
53	○			○						
54	○			○						
55	○				○				興味深い講演が多く、今後の伊那谷の地域づくりの参考になることも多くありました。	
56	○				○					
57	○			○						
58	○			○					「えがおつなげて」は長すぎ。	
59	○				○				事例が聞けて良かった。	
60	○						○			
61	○			○						

	来た場所			開業に当たって期待すること					本日の感想	聞いてみたいテーマなど
	上伊那地域	飯田下伊那	その他	大都市圏と移動時間の短縮	伊那谷の経済振興	インフラ整備	移住・定住者の増加	その他		
62	○							外から人が来て経済が潤うというより、残り8年で伊那谷の人々が自分たちの郷土に誇りを持ち、良さが内からの視点で、さらに発見されること。		
63	○				○					
64		○					○		まちの賑わい創出や耕作放棄地の再生など、可能性について素晴らしい事例を紹介していただいた。	
65	○				○					
66	○				○	○	○	伊那谷、上伊那の元気作り、住民の意識向上	大変良かったです。内容も感動しましたが、考え方、方法、熱意はすごく勉強になりましたので、今後の仕事に役立たせたいと思います。	工業系のテーマも聞いてみたいです。良い企画でした。
67		○						美しい景観、世界に通用する都市	農業の新しい可能性等、新鮮な知恵をいただきました。 プレイヤーとして何が自分のできるか、大切だと思いました。	
68		○					○			
69	○						○		地域交流の手段等が学習できる良い機会でした。	リニアを通しての通勤、通学、移住・定住に関して
70			木曾地域				○		地域づくり活動に刺激を受けました。 中間駅エリアの役割、自分からの地域づくりが必要と思いました。	
71		○			○					
72			長野市		○				菅根原さんの取組は、地域住民や企業の協力が得られてこそできた取組だと思いました。 その部分をもっと伺えれば、有難かったと思いました。	
73		○		○			○			
74		○		○					非常に興味深く拝聴させていただきました。	
75		○		○						
76		○		○						
77		○		○						
78		○		○						
79	○			○					JOCAの話、とても参考になりました。	長野県駅からの2次交通のありがた
80	○				○				興味深い講演内容で、大変勉強になりました。	
81		○			○				非常に ためになる講演でした。 とにかく小さな事からでもまず”行動”ですね。	鳥獣被害等、ジビエ関連
82		○		○						
83		○						自分の住む地域を見つめ直すこと		
84			○	○					JOCA堀田氏の講演は、共感できる部分が多くあった。 外に目を向ける視点よりも地元人を第一に考え、まちをつくり上げていくことが、地域の魅力づくりにもつながり、定住人口・交流人口の増につながると感じました。	
85	○					○			大変参考になった。可能性が広がった。	観光振興について
86		○			○					
87	○			○					・この地域でどんな準備を進めていけば良いか、大変参考になりました。 ・構想やアイデアはたくさん生まれてくるかとは思いますが、この地域でそれを誰が実施していくのか、具体的に動き出すのか、実践部隊(組織づくり)がこれから大切かと思えます。	
88	○				○					二地域居住
89	○						○			
90		○			○					

	来た場所			開業に当たって期待すること					本日の感想	聞いてみたいテーマなど
	上伊那地域	飯田下伊那	その他	大都市圏と移動時間の短縮	伊那谷の経済振興	インフラ整備	移住・定住者の増加	その他		
91			安曇野市	○					地域活性化の参考になった。飯田リニアと安曇野市の移動時間と、在来線の関係は？	
92	○			○			○		大変具体的に良かったです。	
93	○			○					内容が多岐に渡っていて良かった。	東京一極集中の対処の仕方。どう立ち向かうか。
94		○						生活環境の向上		
95		○						地域住民が住んでいる場所の価値を再発見することによる、郷土愛に対する愛着増進		
96		○					○			
97	○					○			外の方の力に期待するだけでなく、地域住民が自ら考え実行する事が重要なのではないかと感じた。	
98	○				○					
99	○			○	○				とても参考になった。	
100		○		○						
101		○		○						
102		○					○		地方の持ち味を活かす、農という資産を活かす、というのが、本日の大きなテーマだと感じた。このことは、コーディネートを務めた長野県当局の考え方でもあると思う。広く県民(特に南信)への発信を進め、共感を高めて欲しい。	
103		○			○					リニア開業が地域に与えると考えられる良い側面。リニア開業による観光産業への影響。
104	○				○				人の対流がその地域を元気にすることに直結しているんだなと感じました。また、移住・定住は副産物として捉え、まずはその地域に住む人たちが、地域に在ることを楽しめるようにすることが、大切だということが分かりました。	海外留学生や技能実習生を巻きこんだ地域づくり
105	○				○				楽しい活動から活力、活性につながることに魅力あり。中心となる人の存在が大切か。	
106	○				○					
107	○				○				取組の実例は、理想的な形で参考になりました。これからの話は、具体的な構想があまりなく残念でした。	
108	○			○						
109	○							新しい生き方への提言、町づくりの可能性の増大	時間的に難しいと思いますが、パネルトークのような形式も理解が進むと思いました。	高校生または大学生による、“リニアが通るまち”のセミナー
110		○		○					とても興味深く、様々な視点からこの地域について考える良い会であったと思います。	地域の方が楽しくなる、生き生きできるような施策について、どんなことがあるか。また、実践している方の講演など。(JOCAの掘田さん)のような。
111		○					○		地元として、色々なことを始めるにはノウハウがいる。これをどう捉えるかが難しい。個人ではあるが、行政はどうかかわるのか。どう個人にプッシュするのか。	
112			諏訪市					人の交流(新たな人流の創出)	リニアの停車を機に、現状の危機感の共存ができたことが良かった。	今回同様、事例紹介をお願いします。
113		○			○					
114	○				○				リニア開通により、時間の短縮による生活が変わる。仕事の仕方が変わる。そんな時代が確実に来る事を強く感じました。	
	66	38	3	40	42	10	26	0	0	0

平成30年度「リニア開業を見据えた地域づくり講演会」アンケート集計結果

1.参加者の状況

	参加者の居住地	期待すること(複数回答あり)					計
		移動時間の短縮	伊那谷の経済振興	インフラ整備	移住・定住者の増加	その他(※)	
1	上伊那地域	23	28	8	14	5	78
2	下伊那地域	12	13	2	10	4	41
3	諏訪地域	1	0	0	1	1	3
	木曾地域	1	0	0	1	0	2
	長野市		1				1
	安曇野市	1					1
	計	38	42	10	26	10	126

2.感想(抜粋)

- 住みやすい地域を作ること、地域の人が自然に集まる場所作りがポイントというのが、印象に残りました。
- それぞれの講演を興味深く聞くことができました。講師の皆様の話は、ここに住んでいる我々には気がつかない視点での取組だったと思う反面、我々にとってはいつもの生活のように思いますので、行政の皆様が関連する会議に講師としてでなく、委員として招へいし、このような取り組みを伊那谷の政策として取り入れるべきではないでしょうか。人が減っては経済活動は減少、インフラ整備も無駄になります。
- スーパー・メガリージョン構想と、堀田さんとの話は大変魅力的で、将来に対する大きな夢がふくらんだ。あと10年後が楽しみ。
- 「地域の人が集まる場所を作れば、外からも人が集まってくる」という堀田様のお話が印象的でした。子供達にとって、地元が居心地の良い場所という思い出を作ってもらうことが大事だと思います。
- 地域づくりの実例が聴講できてよかった。今後定期的にお願いします。
- 来る前は講演時間が長いと感じていましたが、それぞれの講演を興味深く聞けました。特に農業・林業で取り組んでいくことができれば、地域活性化につながるのではと思います。
- 8年後の開業が予定どおり行われる事に期待する。ぜひ合わせてインフラ整備のための予算確保をお願いしたい。
- 大変良かったです。内容も感動しましたが、考え方、方法、熱意はすごく勉強になりましたので、今後の仕事に役立たせたいと思います。
- 地域づくり活動に刺激を受けました。
中間駅エリアの役割、自分からの地域づくりが必要と思いました。
- 曾根原さんの取組は、地域住民や企業の協力が得られてこそ、できた取組だと思いました。その部分をもっと伺えれば、有難かったと思いました。
- JOCA堀田氏の講演は共感できる部分が多くあった。外に目を向ける視点よりも地元人を第一に考え、まちをつくり上げていくことが、地域の魅力づくりにもつながり、定住人口・交流人口の増につながると思いました。
- 時間的に難しいと思いますが、パネルトークのような形式も理解が進むと思いました。
- リニア開通により、時間の短縮による生活が変わる。仕事の仕方が変わる。そんな時代が確実に来る事を強く感じました。

H31.1.31

「リニア開業を見据えた地域づくり講演会」の様子

参加者数 約200名

